

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 319

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	4. 衛生費 - 1. 保健衛 - 1. 保健衛 現年		
事業名	母子保健事業				
細事業名	母子保健事業				
評価表作成者				市民福祉部 保健医療課	疋田 ミツル

1. 事業の概要

妊娠時に、母親教室を開催。出生後はこんにちは赤ちゃん訪問を全出生児を対象に行い、必要に応じて保健師・栄養士が経過訪問を実施した。乳幼児健診では乳幼児の心身の状態を観察するとともに、小児科医・歯科医により診察、臨床心理士等による発達確認、保健師・栄養士・歯科衛生士による健康状態、育児、食育などの相談・指導などを実施した。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

安心して子育てできるまちづくりをめざす。

②事業を実施する必要性

妊婦の健康づくりを推進し、乳幼児から正しい生活習慣を身につけ、保護者が安心して子育てが出来るよう支援が必要であるため。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	10,378	10,796	6,183	5,681	6,982	6,982	6,982
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	1,635	1,662	1,524	1,510	2,587	2,587	2,587
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	145	0	0	307	270	270
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	10,233	10,796	6,183	5,374	6,712	6,712
職員等の従事人員	人/年	—	3.51	3.51	3.65			
人件費	千円	—	19,124	21,479	20,583			
事業費総額	千円	—	28,258	26,139	24,754			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

乳幼児健康診査 5,586,532円(報償費、賃金、消耗品、役務費)
 母親教室 94,450円(報償費)

5. 事業結果の概要

こんにちは赤ちゃん訪問事業 233人 (99.1%) 訪問
 乳幼児健康診査受診者数 (率)
 乳児前期健診 245人 (98.8%)
 乳児後期健診 240人 (98.8%)
 1歳8ヵ月児健診 204人 (96.7%)
 2歳5ヵ月児相談 226人 (95.8%)
 3歳5ヵ月児健診 213人 (99.1%)
 母親教室 年4回実施 参加者 実49人 延58人 (20.6%)

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

個と集団、月齢ごとの健診等、手法を工夫しながらきめ細かな事業展開が行われた。又、事業への参加率もよい。虐待未然予防の観点を持ちながら、安心して子育てができるよう努力したい。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

乳幼児健康診査については、平成20年度から園部と美山の2箇所に集約して実施するようになったが、いずれの健診も95%以上の参加率でほとんど漏れなく受診されている。また、会場を集約したことでスタッフの確保がしやすくなり、また、内容の充実を図ることができるようになったこと、対象者の月齢幅が狭まることから評価がしやすく、問題を早期に発見できるようになった。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
広域な市内のサービス低下を招かないよう、又内容の充実をはかることを担当者と協議した。
- ②当該事業のアピール事項
安心して子育てできる支援を個別又は集団でそれぞれの状況に応じた支援を展開した。又、健診未受診者には再度受診勧奨や専門職による訪問等を行い、南丹市の母子全員に何らかの接点をもてるようにしている。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
母親教室の参加者増をはかる。乳幼児健診の時間内終了にむけて時間配分等の検討を行う。